

1. 全介助が必要な利用者でも、利用者が持っている能力を活かした介護をします。
2. 介護職は忙しいときに利用者に話しかけられても、答えなくともよいです。
3. 介護職は、利用者に声をかけるとき、正面から話します。
4. 耳が聞こえない利用者とのコミュニケーション方法に手話、筆談、ジェスチャーがあります。
5. 口から食べることができない利用者は、口腔ケアは必要ありません。
6. 衣服にしわやたるみがあると、利用者は着心地が悪いです。
7. 介護職は、起き上がりの介護の後、利用者の体調の変化がなにか確認します。
8. 長い時間同じ姿勢でいると、褥瘡になりやすいです。
9. 介護職は、利用者の禁忌食を確認します。
10. 食事のとき、いすに浅く座るとよいです。
11. 上半身の清拭は、肩から指先のほうに拭きます。
12. 介護職は、清拭をするとき、利用者の皮膚の状態を確認します。

13. トイレでは転倒しにくいので気を付けなくてもよいです。

14. 介護職は、利用者の排泄物の量、色、性状など異常がないか観察します。

15. 指を動かすことは、脳の働きをよくします。

16. 利用者のベッドのシーツは、汚れていなければ交換しなくてもよいです。

17. 介護職は、ハンドリムを持って車いすを押します。

18. 矢印の部分は、介助ブレーキです。



19. 介護職は、利用者の症状に合わせて薬を選ぶことができます。

20. 介護職は、汚れた手袋のまま、自分や利用者に触れてはいけません。

かいごぎのうじっしゅうひょうか しけん  
介護技能実習 評価試験  
Kaigo ginō jisshū hyōka shiken

(しよきゅう) がっか しけんもんだい かいとうようし  
【初級】学科試験問題 解答用紙  
【Shokyū】 Gakka shiken mondai kaitō yōshi

じゅけんばんごう 受検番号 Juken bangō	
なまえ かたかな 名前 (カタカナ) Namee (Katakana)	

もんだいばんごう 問題番号 Mondai yōshi	こたえ 答え Kotae
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

もんだいばんごう 問題番号 Mondai yōshi	こたえ 答え Kotae
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	